



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 39 (平成29年12月20日発行)

インドネシアの高校生来校!



↑ オープニングセレモニーより

↑ 3限目の音楽の授業より

2017年12月12日(火)、インドネシアの**Sinar Cendekia High School** から11名の生徒と引率の先生2名の合計13名が来校しました。佐野市は観光立市の一環として「***ムスリムインバウンド**」に力を入れていることから、今回の訪問が実現しました。前日の11日は、佐野市役所で着物体験や唐沢山の観光、***ハラール**ラーメン作り(食材に豚肉やアルコールなどを含まない)などを体験しました。当日は、以下のタイムテーブルで、本校の授業や日本の文化などを体験しながら、本校生との交流を行いました。

時限	授業等	活動内容等
1st	Opening Ceremony (高1-3,4) 〈英語演習室〉	1 Welcome Speech (校長先生: 英語) 2 Remarks from Indonesia (インドネシアの方から一言) 3 The introduction of Sano city and Sano high school
2nd	English Expression I (高1-1) 〈1-1教室〉	各班に1名ずつインドネシアの高校生が入り、折り紙でツルを折ったり、剣玉を体験
3rd	Music (高1-3) 〈音楽室〉	「夢の中へ(井上陽水)」を生徒が編曲したギターの伴奏でいっしょに歌う。
4th	Tea Celemony (茶道部) 〈総合文化室〉	茶道部の生徒が点てたお茶をいただく体験。お菓子は、特注の「ハラールまんじゅう」
Lunch	Lunch Meeting (SGHクラブ研究班等) 〈選択3教室〉	お昼(ハラール弁当)を食べながら交流会

(豆知識)

***ムスリムインバウンド** → ムスリム(**イスラム教徒**のアラビア語)の**インバウンド**(**観光客の誘客**)。現在全世界に16億人以上のムスリムがいます。

***ハラールフード** → イスラムの教で「許されている」という意味のアラビア語がハラール(ハラール)です。『**豚**』や『**アルコール**』は、その派生物を含めて全てが禁じられています。発酵過程で自然にアルコールが醸造される食品(しょうゆや味噌など)も該当します。ハラールフードは、豚やアルコールが全く含まれていない食物をさしています。

Opening Ceremony

- ・佐野市や佐野高校について、インドネシアの人たちにしっかりと伝えられるか不安でしたが、ジョークを交えての話に笑ってくれて、とても嬉しかったです。インドネシアの人に出会えたことを感謝します。(1-3 古橋愛唯さん)
- ・英語という共通の言語のおかげで、意思のすれ違いがなく、楽しく会話することができました。英語を使うことによって、言語の違う国の方と会話ができることはすごいなと思いました。(1-3 町田美宇さん)

英語表現 English Expression I (1-1) → 班ごとに「折り紙や剣玉」を体験



- ・インドネシアの学校では、ひらがなを教えるなど、日本語教育を行っていることがわかりました。英語でわかりやすく伝えることの難しさを改めて実感しました。(1-1 杉江悟君)
- ・授業ではインドネシアの方に日本語を教えました。日本語では「花」と「鼻」はどちらも「はな」と発音することにとても驚いていました。(1-1 安生温大君)

音楽 Music (1-3) → 「夢の中へ」をギター伴奏で合唱



- ・英語が上手く伝わるか心配でしたが、僕の話頑張って理解しようとしていたのがよくわかりました。また、歌を通して仲良くなり、笑顔をたくさん見ることができてよかったです。(1-3 大宮駿平君)
- ・あまり話せませんでしたが一生懸命話を合わせてくれました。もっと一緒に歌いたかったです。(1-3 臼井諒馬君)

茶道体験 Tea Ceremony (茶道部) → 「ハラルまんじゅう」をお茶菓みに茶道体験



- ・インドネシアの方が日本の茶道について興味関心を持ってくれて嬉しかったです。また、お茶菓子もハラルにするため、特注したことに驚きました。衣装や食べるものなど、イスラムの文化について、身近に体験することができてよかったです。(2-1 角田絵梨香さん)

Lunch Meeting (SGH Club) → 「ハラル弁当」を食べながら会食。伝統芸能の披露



- ・インドネシアでは、言語が島ごとに違うことに驚きました。一歩、島を出ると全く言葉が通じないという状況は想像できず、日本とは大きく違うことがわかりました(2-1 猿山綾乃さん)。
- ・インドネシアの学生の英語力の高さに驚き刺激を受けました。将来、世界で活躍したいという志を共にする仲間と交流し、有意義な時間を過ごすことができました。(1-1 大芦さくらさん)

(インドネシアの高校生の感想)

- ・さいしょはきんちょうしました。ちゃんとおはなしできるかな。ちゃんとみんなとなかよくできるかな。でも、さいごはだいじょうぶでした。じかんはぜんぜんじゅうぶんではない！まだじかんをおわらせたくない、わたしはおもった。さのこうこうのみなさんは、あったとき、あかるい、あたたかいかんじがありました。すごくよいみなさんでした。Please keep it that way from now on and on. ありがとうございます。(原文のまま)